

承認番号	3072
研究課題名	膝靱帯損傷患者に対する靱帯再建術に関する研究
研究の意義・目的	膝靱帯再建術の過去は関節切開による再建術であったが、関節切開する事の高侵襲のため、近年は関節鏡による低侵襲手術が主流である。手術方法は様々な方法があるが、最近では靱帯付着部の位置に正確に骨孔を作成する方法がより成績が良好であるという報告が散見されるが、正確な骨孔位置を同定することは術者間に差があり、成績のばらつきに寄与する可能性がある。今回の目的は、靱帯損傷患者に対する当院で行っている靱帯再建手術の術前評価、術式、術後評価を行うことにより、当院の手術成績を評価する事である。
研究期間	2015年3月3日～2019年11月30日(西暦)
研究対象者の範囲	2005年1月1日～2024年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院整形外科で、膝疾患の診断、治療のため受診された入院、通院患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録、単純レントゲン、CT、MRI
利用者の範囲	得られた情報は自施設で利用します。これには、あなたの性別、生年月日も含まれますが、カルテ番号、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は含まれません。情報の集計に際してはプライバシー保護のため、個人が特定できない情報に置き換えて対応し、結果を公表する場合も個人名が出ることはありません。
研究機関の情報	(該当しません)
代表施設のURL	(該当しません)
試料・情報を公表する方法	国内外の整形外科領域を中心とした学術集会や学術誌にて報告することで情報を公開します。この時、個人情報が特定される事はありません。
試料・情報の提供方法	(該当しません)
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 橋本祐介
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	研究組織：大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 住所：545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 電話：06-6645-2121 研究代表者：橋本祐介